

2025 年 2 月 21 日作成 Ver.1

《情報公開文書》

経皮的肝嚢胞排液・硬化療法による症状改善期間の調査

研究の概要

【背景】

腹痛など症状を伴う肝嚢胞は治療対象となるが、その選択肢として手術による嚢胞切除もしくはエコー下に針を穿刺し肝嚢胞内の液体を吸引する、経皮的肝嚢胞排液療法、または肝嚢胞の内容物を排液後に硬化剤を注入する経皮的肝嚢胞硬化療法が一般的です。このような肝嚢胞穿刺治療は患者さんへの負担は少ないが、容易に再発すると言われていたが、どの程度治療効果が持続するのか明らかではありません。

【目的】

本研究では肝嚢胞に対する針を用いた穿刺治療による症状改善効果が、どの程度持続するのかを検証することを目的とします。

【意義】

本研究により患者さんへ肝嚢胞に対する治療方法を提案する際に提示できるデータとして有用であると考えています。

【方法】

対象患者さんにおいて、治療後の症状再発の有無、再発時期を調べ、治療効果の持続期間を評価します。

対象となる患者さん

2017 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日までに当院で症候性肝嚢胞に対して経皮的肝嚢胞排液療法もしくは硬化療法を行った患者さんを対象としています。

研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- 患者さんの背景（年齢、性別、身長、体重、BMI、併存疾患、既往歴など）
- 嚢胞による症候、治療内容
- 画像所見：嚢胞の場所、最大径
- 症状再発の有無、再発時期

また継続的に当院に受診されていない方には、治療後の再発の有無について電話にて問い合わせる場合があります。

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日	
本研究は 2025 年 3 月 27 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。	
あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。 ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。 あらかじめご了承ください。	
研究実施期間	
研究機関長の許可日～2028 年 3 月 31 日	
研究実施体制	
研究責任者	所属：長崎大学病院 消化器内科 氏名：福島 真典 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095（819）7481
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
問い合わせ先	
【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】 長崎大学病院 消化器内科 福島真典（研究責任者） 〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095（819）7481 FAX 095（819）7482	
【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200 受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）	